



平成21年1月期 中間決算説明会

平成20年9月22日

株式会社丸千代山岡家

JASDAQ（証券コード：3399）



目次

● 平成21年1月期中間決算概要 P 3～P 15

● 平成21年1月期業績の見通し P 16～P 23



平成21年1月期中間決算概要



平成21年 1 月期上期実績

(単位：千円)

	平成21年1月期					
	1 Q実績		2 Q実績		上期実績	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	売上比率
売上高	1,647,211	100.0	1,659,877	100.0	3,307,088	100.0
売上原価	426,973	25.9	454,940	27.4	881,913	26.7
売上総利益	1,220,238	74.1	1,204,937	72.6	2,425,175	73.3
販管費	1,182,522	71.8	1,214,259	73.2	2,396,781	72.5
営業利益	37,716	2.3	△9,323	△0.6	28,393	0.9
経常利益	38,097	2.3	△4,424	△0.3	33,673	1.0
当期純利益	20,497	1.2	3,364	0.2	23,861	0.7

5月以降、原価率が急激に上昇（1 Q比1.5%上昇）→主に原材料単価の上昇が要因

2 Qの販管費上昇は、一過性のコスト発生による
(エアコン清掃等の衛生費、家賃減額に伴う成功報酬など)

新規出店数は、1 Qに1店舗、2 Qに1店舗、上期計2店舗



平成21年1月上旬対前期比較

(単位：千円)

	平成20年1月期 上期実績		平成21年1月期 上期実績		対前期比較	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	比率
売上高	3,073,272	100.0	3,307,088	100.0	233,815	7.6
売上原価	765,422	24.9	881,913	26.7	116,490	15.2
売上総利益	2,307,849	75.1	2,425,175	73.3	117,325	5.1
販管費	2,359,547	76.8	2,396,781	72.5	37,234	1.6
営業利益	△51,697	△1.7	28,393	0.9	80,091	—
経常利益	△39,895	△1.3	33,673	1.0	73,569	—
当期純利益	△51,286	△1.7	23,861	0.7	75,148	—

売上原価は前期に対し1.8%上昇（原材料価格高騰の影響）

販管費は前期に対し4.4%減少（人件費やその他コストの削減効果）



平成21年1月期上期コスト内訳

(単位：千円)

		平成20年1月 上期実績	売上高比	平成21年1月 上期実績	売上高比	対前期コスト 改善率
売上高		3,073,272	100.0	3,307,088	100.0	7.6
売上原価		765,422	24.9	881,913	26.7	1.8
売上総利益		2,307,849	75.1	2,425,175	73.3	△1.8
販売費及び 一般管理費	人件費	1,102,578	35.9	1,083,409	32.8	△3.1
	法定福利費	96,948	3.2	91,309	2.8	△0.4
	水道光熱費	350,968	11.4	405,436	12.3	0.9
	賃借料	60,243	2.0	58,209	1.8	△0.2
	地代家賃	232,804	7.6	240,366	7.3	△0.3
	減価償却費	126,945	4.1	139,393	4.2	0.1
	その他	389,058	12.7	378,659	11.4	△1.3
	計	2,359,547	76.8	2,396,781	72.5	△4.3

水道光熱費は対売上比0.9%増（主にガス代）

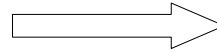
人件費が対売上比で3.1%減少



営業利益の増減

平成20年1月期上期

△51,697千円



平成21年1月期上期

28,393千円

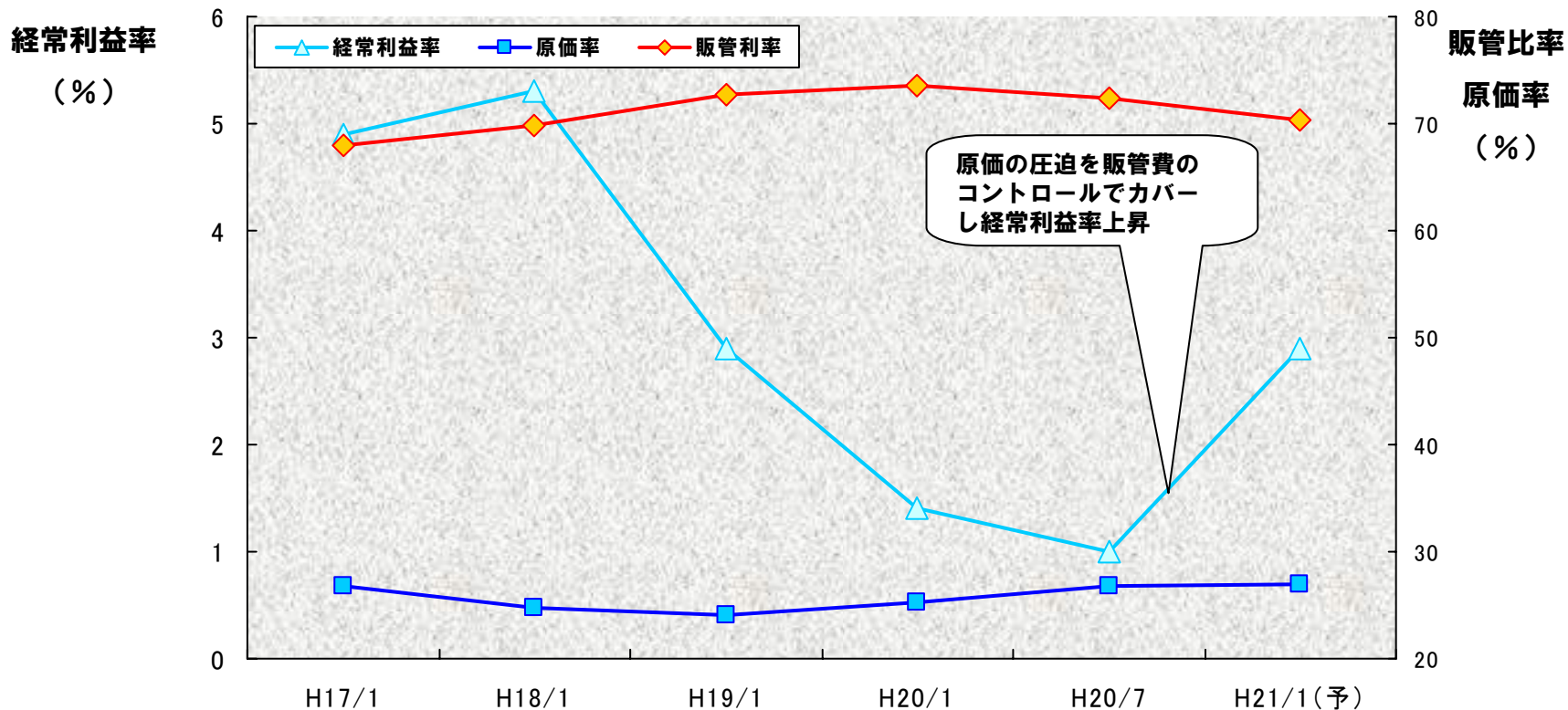
増減 +80,091千円

要因分析

・売上増加による利益増	+174,917千円
・人件費改善	+19,169千円
・原価率悪化	△59,527千円
・水道光熱費増	△54,468千円
計	+80,091千円



原価率・販管費率の推移

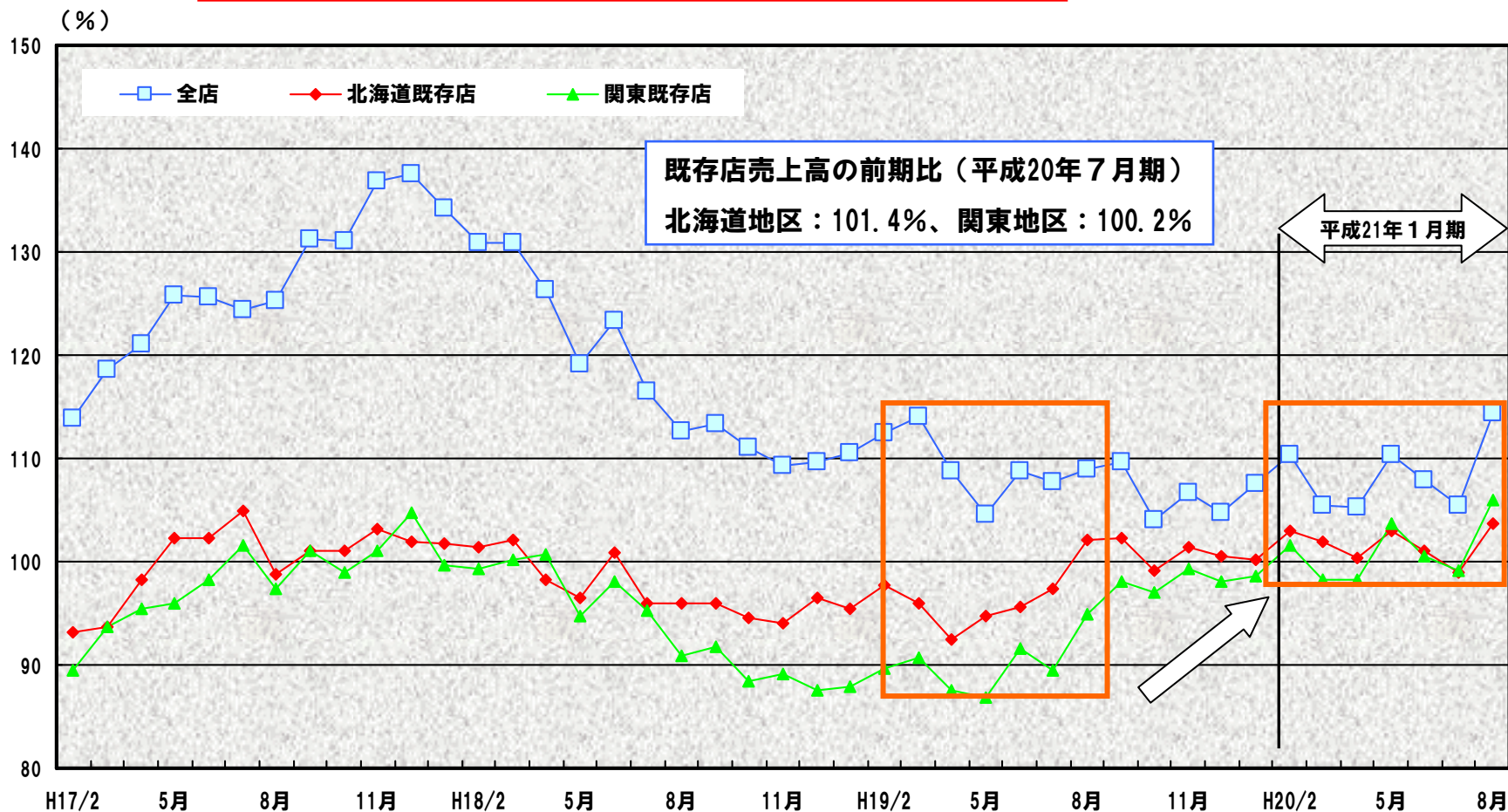


原価率は、原材料市況や輸送コストの問題から上昇傾向

販管比率は、水道光熱費や人件費のコントロールにより下降



月次売上高推移（前年比）

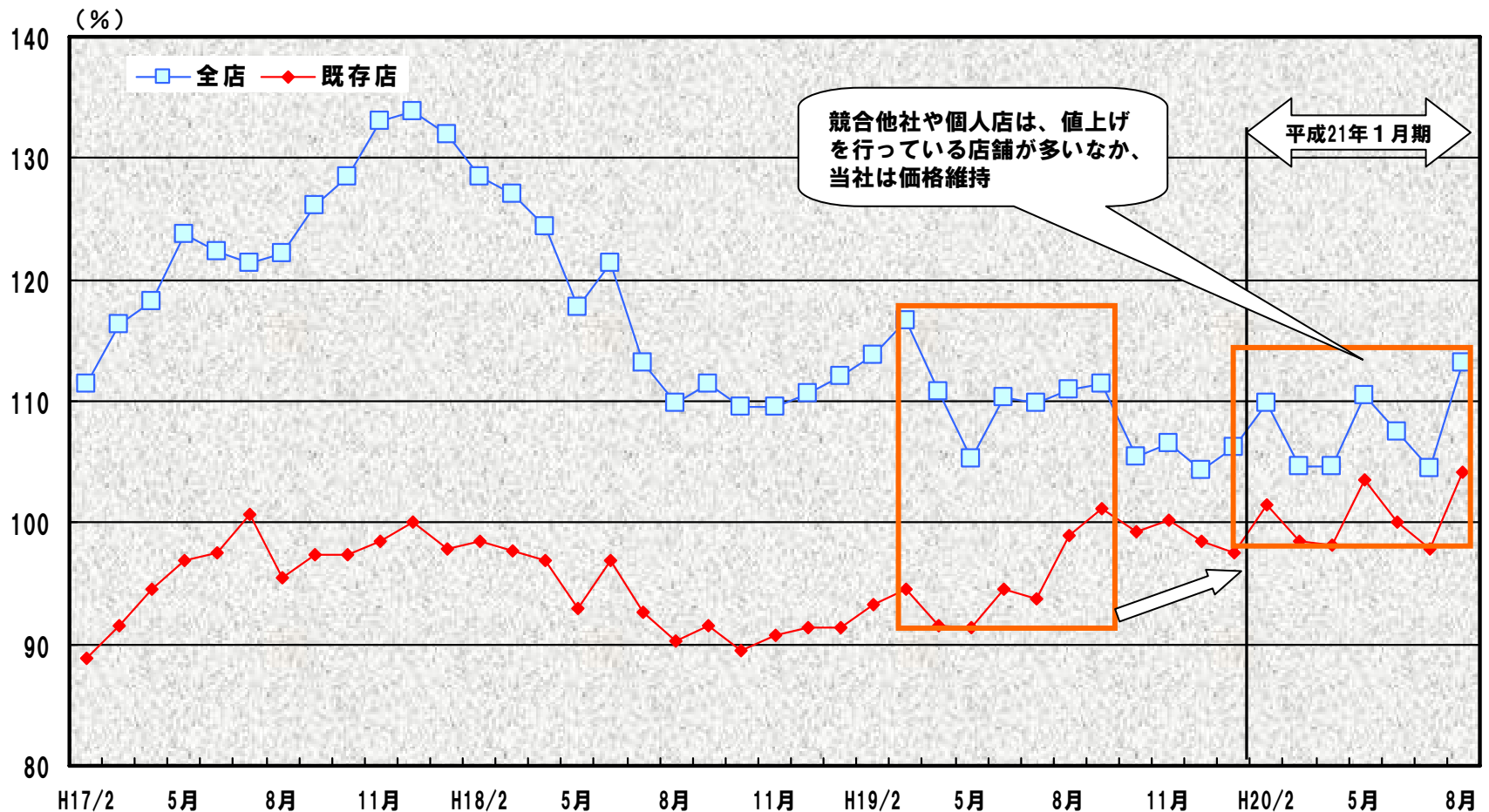


既存店売上高については平成19年8月以降、回復傾向

(注) 既存店はオープン月から15ヶ月以上稼働の店舗としております。



月次客数推移（前年比）

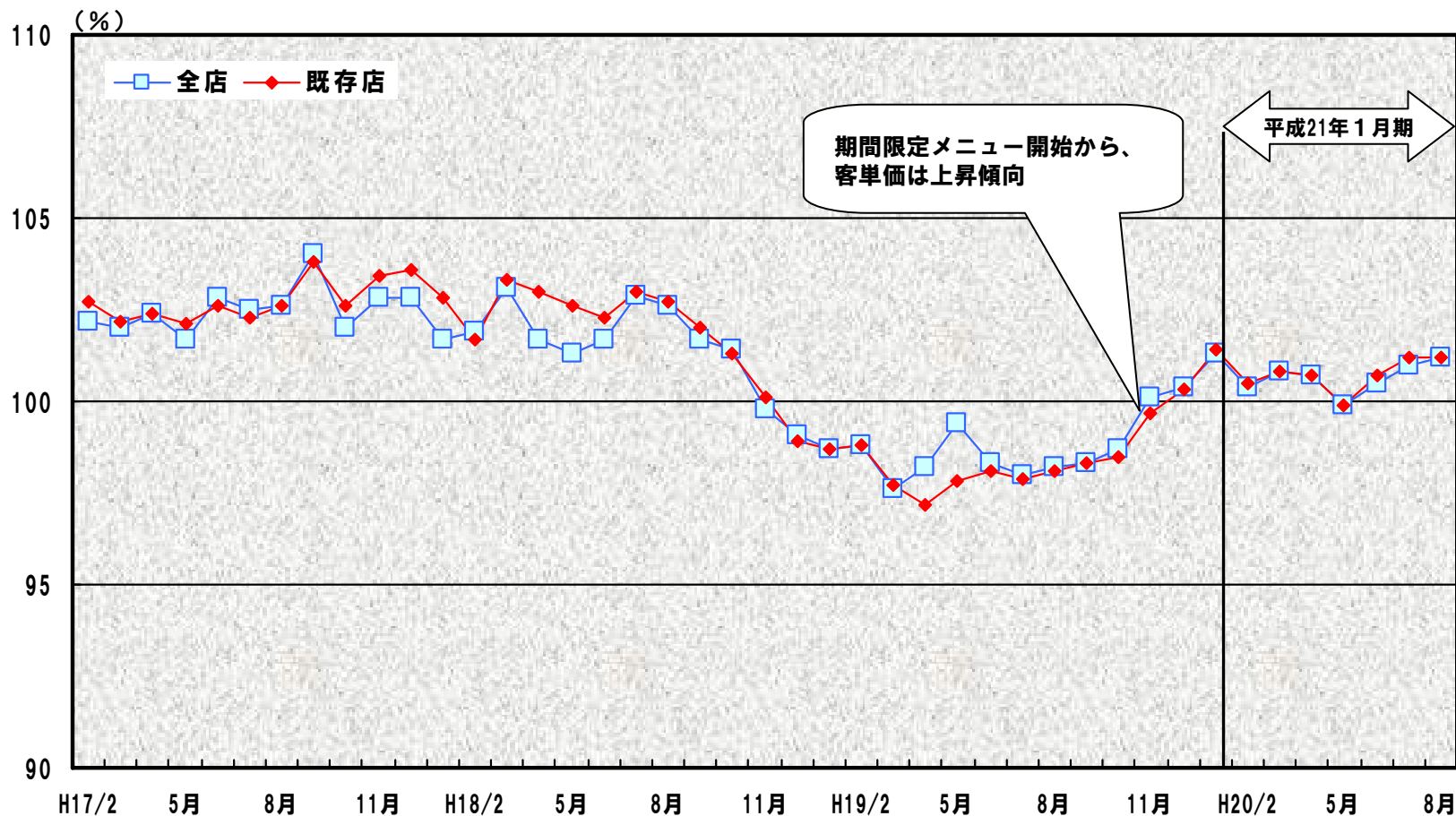


価格維持、限定メニュー等の実施により、当期上期既存店客数は対前年度比100%前後を維持

(注) 既存店はオープン月から15ヶ月以上稼働の店舗としております。



月次客単価推移（前年比）



当期上期客単価は期間限定メニュー開始以降100%前後に回復

(注) 既存店はオープン月から15ヶ月以上稼働の店舗としております。



キャッシュフロー要因分析

(単位：千円)

	平成20年1月上旬	平成21年1月上旬	増減額
営業活動によるCF	102,270	178,133	75,863
投資活動によるCF	△96,692	△189,725	△93,033
財務活動によるCF	56,503	3,729	△52,774
現金及び現金同等物	253,521	237,988	△15,533

■ 営業活動によるキャッシュフロー

税引前中間純利益50,639千円に対し、減価償却費132,819千円、利息の支払額20,502千円

■ 投資活動によるキャッシュフロー

新店舗開設による有形固定資産の支出145,068千円

■ 財務活動によるキャッシュフロー

長期借入返済298,246千円、新規の長期借入330,000千円



資産の推移

(単位：千円)

	平成20年1月 中間期	平成21年1月 中間期	構成比	増減率
流動資産	437,615	390,131	10.3	△10.9
現金及び預金	253,521	237,988	6.3	△6.1
棚卸資産	64,543	71,719	1.9	11.1
固定資産	3,349,457	3,403,072	89.7	1.6
有形固定資産	2,609,208	2,641,291	69.6	1.2
建物及び構築物	2,249,980	2,258,112	59.5	0.4
無形固定資産	23,929	19,120	0.5	△20.1
投資その他の資産	716,319	742,660	19.6	3.7
敷金保証金	482,940	515,680	13.6	6.8
資産合計	3,787,072	3,793,203	100.0	0.2



資本・負債の推移

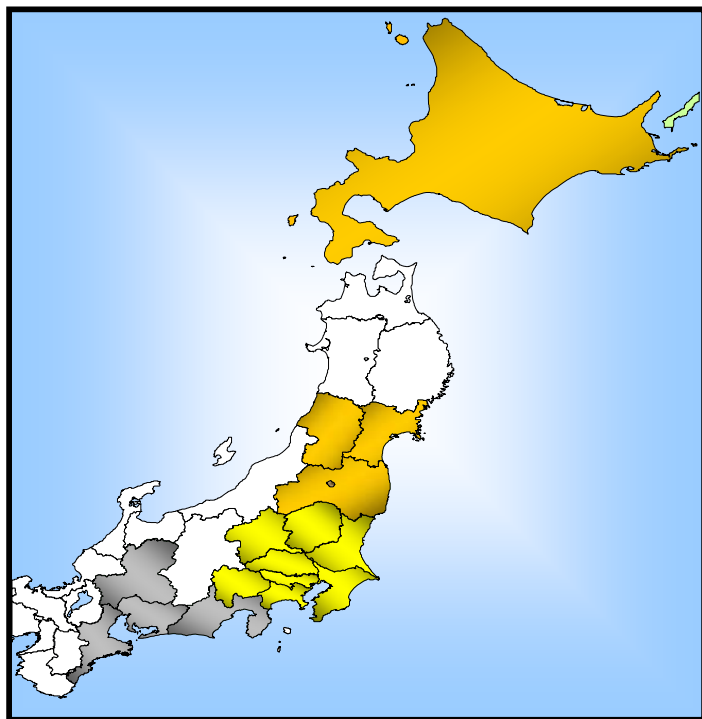
(単位：千円)

	平成20年1月 中間期	平成21年1月 中間期	構成比	増減率
流動負債	1,139,001	1,224,246	32.3	7.5
買掛金	143,576	163,625	4.3	14.0
短期借入金	—	36,668	1.0	—
1年以内返済長期借入金	541,066	607,508	16.0	12.3
固定負債	1,530,356	1,399,001	36.9	△8.6
社債	125,000	115,000	3.0	△8.0
長期借入金	1,371,675	1,256,000	33.1	△8.4
負債合計	2,669,357	2,623,248	69.2	△1.7
純資産	1,117,714	1,169,955	30.8	4.7
資本金	291,647	291,647	7.7	—
負債・純資産合計	3,787,072	3,793,203	100.0	0.2



エリア別出店状況

平成21年1月期期末店舗数 90店舗（予定）



北海道・東北エリア

都道府県名	H20.1期末店舗数	H20.7末増減	H20.7末店舗数	H21.下期出店予定
北海道	28	—	28	1
宮城県	2	—	2	—
福島県	2	—	2	—
山形県	1	—	1	—

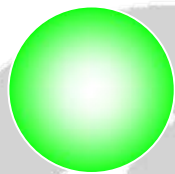
関東エリア

都道府県名	H20.1期末店舗数	H20.7末増減	H20.7末店舗数	H21.下期出店予定
茨城県	11	—	11	1
群馬県	6	—	6	—
栃木県	7	—	7	—
千葉県	7	—	7	2
埼玉県	8	—	8	—
東京都	1	—	1	—
神奈川県	2	1	3	—
山梨県	1	—	1	—

東海エリア

都道府県名	H20.1期末店舗数	H21.7末増減	H20.7末店舗数	H21.下期出店予定
静岡県	3	—	3	—
岐阜県	2	—	2	—
愛知県	2	—	2	—
三重県	1	1	2	—

北海道 東北	関東	東海	H20.7末店舗計	H21.1期末予定
33	44	9	86	90



業績見通し

平成21年1月期業績の見通し



平成21年1月期通期計画（対前期実績比較）

（単位：千円）

	平成20年1月期 通期実績		平成21年1月期 通期計画		対前期比較	
	金額	売上比率	金額	売上比率	金額	比率
売上高	6,444,178	100.0	7,089,052	100.0	644,874	110.0
売上原価	1,628,178	25.3	1,806,231	25.5	178,053	110.9
売上総利益	4,816,000	74.7	5,282,820	74.5	466,820	109.7
販管費	4,736,017	73.5	5,085,961	71.7	349,944	107.4
営業利益	79,982	1.2	196,859	2.8	116,877	246.1
経常利益	92,168	1.4	200,924	2.8	108,756	218.0
当期純利益	20,270	0.3	75,462	1.1	55,192	372.3

平成21年1月期 計画設定条件

新規出店 6店舗（上期：2店舗 下期：4店舗）
 4店舗を関東地区を中心に、東海1店舗、北海道1店舗 ⇒ 全店契約完了
既存店売上 前年対比 100%
販管费率 上期ガス代及び人件費等上昇分を加味し、前期比約10%の増加
特別損失 店舗閉鎖関連費用50百万円（1店舗の閉店計画）



平成21年1月期通期計画前提条件

～通期計画根拠～

- ・利益ベースは下期偏重
→売上が大きくなる月が下期に多い（8・12・1月）
→損益分岐点の観点から、一定の売上を上回ると利益が大幅に増加する傾向
- ・平成21年1月期直近（下期）の業績
→8月は売上高・経常利益共に予算を達成。9月の売上高も順調に推移

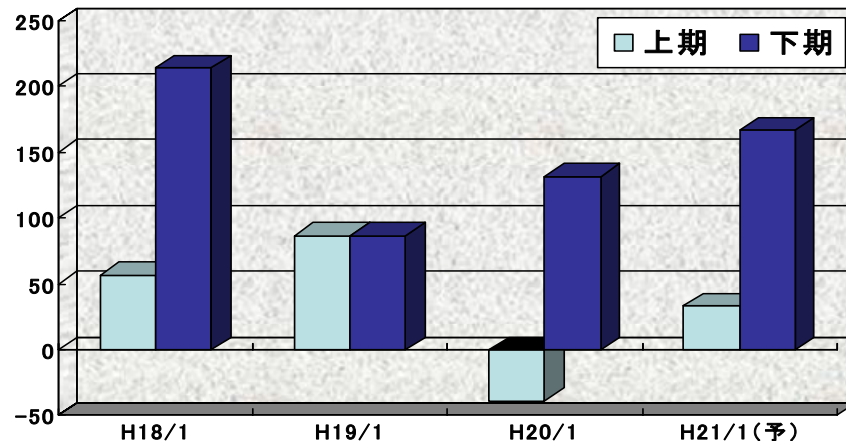
～前提条件～

- ・国内原材料市況上昇の当社下半期の損益への影響額 ⇒ 約△1億3,000万円
→輸入小麦の度重なる単価UP、輸送コスト悪化による食材単価UPが要因
- ・現在取組み中のコスト削減 ⇒ 約 1億4,000万円
→既存店の厨房機器の電化改装による水道光熱費削減、1店舗あたりの人件費効率化等

～上期・下期の経常利益推移～

直近4年間の推移は、右図のよう
になっており、売上が大きくなる
8月・12月・1月が含まれる
下半期の経常利益の伸びは非常に
大きく、傾向は一致している。

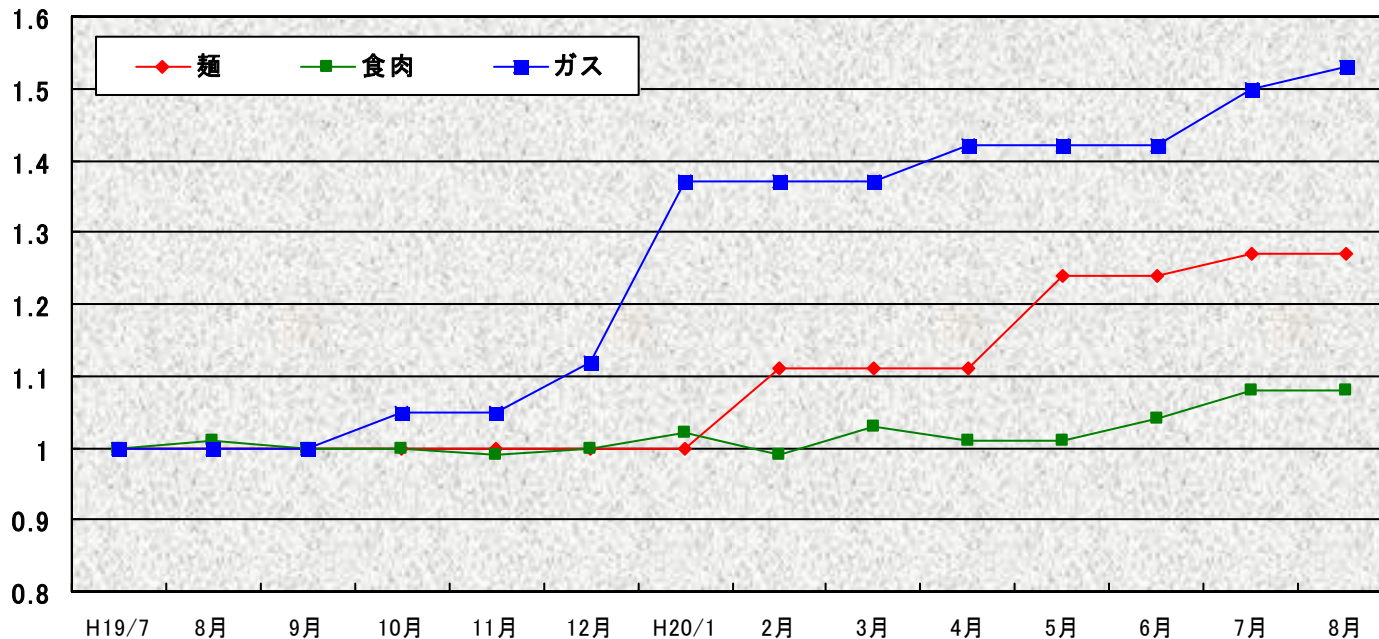
単位：百万円





主要食材及びガス単価の推移

○主要食材単価、ガス単価の前年7月を1とした場合の推移

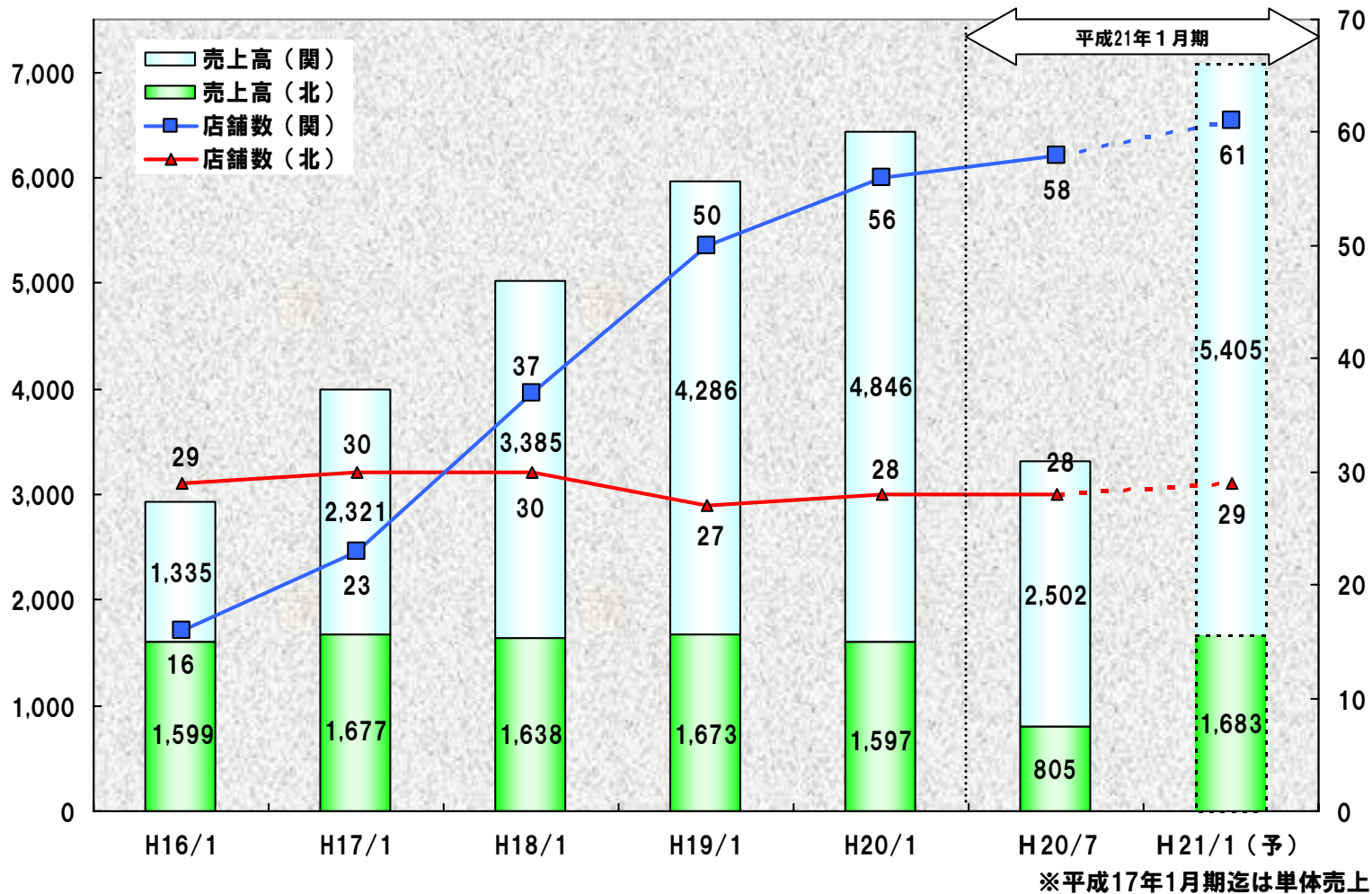


今後の市況は、横ばいもしくは微増で推移すると予測

水道光熱費（特にガス）の上昇は、使用料の軽減・既存店の電化設備移行にて回避



業績の推移（地域別売上高・店舗数）



今期売上計画は概ね順調に推移。出店は抑制。



平成21年1月期の取組み

売上向上対策

期間限定メニューの
定期的販売

新規顧客の開拓と
固定客の増加

店長教育・研修の実施

QSC（商品の品質・
サービス・清潔さ）
の向上

参考指標

	既存店売上指標対前期比較（％）		
	当期上期	前期上期	対前年
売上	100.5	91.2	+9.3
客数	99.9	93.1	+6.8
平均単価	100.6	97.9	+2.1

サービスセットの提供時間短縮⇒客単価UP

コスト改善対策

パートアルバイト教育と
社員比率の改善

社員比率：
H20.1 3.1人／店
⇒H20.7 2.7人／店

電化設備の既存店導入

光熱費売上比率：
導入前 導入後
約12% ⇒ 約8%

家賃減額交渉

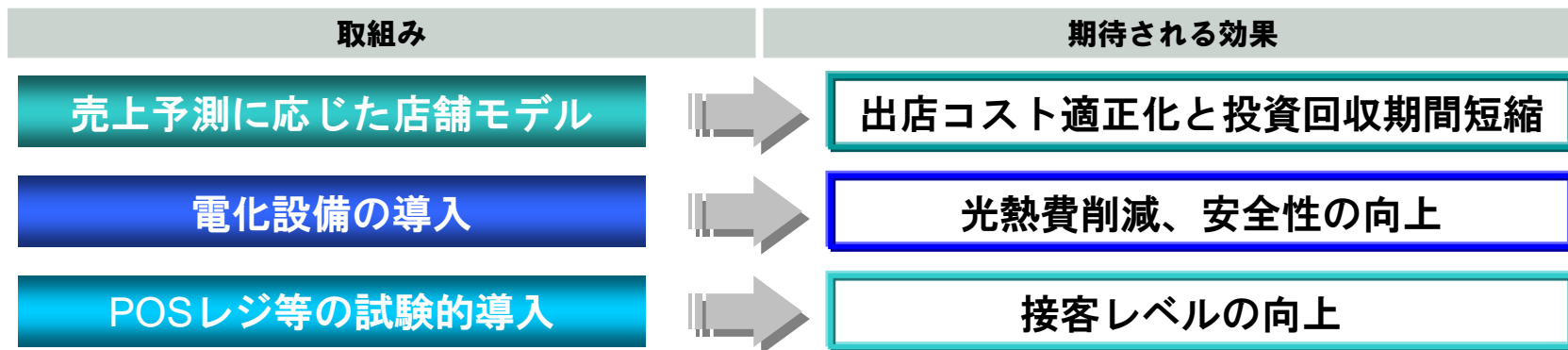
7月末で月額ベース
約200万円減額

参考指標

	コスト対前期比較（％）		
	当期上期	前期上期	対前年
人件費	32.8	35.9	△3.1
水道光熱費	12.3	11.4	0.9
地代家賃	7.3	7.6	△0.3
販管費	72.5	76.8	△4.3



新規出店に向けた取組み



出店コスト目安（ロードサイド）

35席タイプ		45席タイプ		57席タイプ	
売上目安/月	コスト目安	売上目安/月	コスト目安	売上目安/月	コスト目安
750万	3,500万	950万	4,500万	1,200万	5,500万

全タイプ投資
回収5年以内
を目標！

新規店舗紹介（平塚店 平成20年6月OPEN）※POSレジ導入店舗

外観



店内①



店内②





平成21年1月期上期営業活動での取組み

期間限定メニュー（つけ麺祭り）

和風つけ麺



辛味つけ麺



冷やしつけ麺



きまぐれつけ麺



販売状況

	和風つけ麺	辛味つけ麺	冷やしつけ麺	きまぐれつけ麺
販売期間	平成20年6月5日 ～7月2日	平成20年7月3日 ～7月30日	平成20年7月31日 ～平成20年8月27日	平成20年8月28日 ～9月24日(予定)
期間出数	53,965	44,044	39,778	—
出数比率	9.2%	7.2%	5.8%	—

※期間出数は単品+セットメニュー(A・B・C)の合計数値となっております。

※出数比率は期間毎の商品出数/全体出数×100で算出しております。



問合せ先

部署

経営企画室

TEL

029-896-5800

FAX

029-896-5802

E-mail

ir@yamaokaya.com

<http://yamaokaya.com>

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。